授業科目	＊保健統計学					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	浅野　嘉延						
授業概要	疫学・保健統計学とは人間集団における健康や疾病の状態を観察および解析して、それらに影響を与える要因を明らかにし、疾病の予防やコントロールを行おうとする学問です。個々の患者の治療や看護を目的とした臨床医学とは異なりますが、現在の臨床現場で重要視される EBN: Evidence Based Nursing（根拠に基づいた看護）を行ううえで必要な知識となります。統計学の基礎知識は看護研究を行ううえでも不可欠です。また、全ての範囲が保健師の日常業務に深く関連します。 授業では、疫学・保健統計学の基礎を幅広く説明していきます。						
授業形態	講義			授業方法	Google Classroom で質問を受け付けます		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	疫学・保健統計の基本的な知識を身に付け、疫学研究の方法やデータの解析を人に説明することができる。この領域の基本的な計算をすることができる。主な疾患の疫学について人に説明することができる。統計学の基礎を理解して、統計データを読み解くことができる。 １．標本抽出、疫学研究の特徴、バイアスの制御法を説明できる。疫学研究の指標（相対危険、寄与危険、オッズ比）の計算ができる。 ２．疾病頻度の指標と疾病予防の内容が説明できる。年齢調整の計算ができる。 ３．保健統計調査の方法と近年の統計データを説明できる。 ４．スクリーニングの方法を説明できる。敏感度や特異度の計算ができる。 ５．感染症や生活習慣病の疫学について説明できる。 ６．統計学の基礎を理解し、与えられたデータを解析して作図ができる。 ７．データの代表値、散布度、正規分布、偏差値について説明ができる。 ８．推定と検定の考え方について説明ができる。 ９．医学・保健・福祉などに関する社会問題に興味を持って、考察することができる。
理想的レベル	疫学・保健統計の知識をよく理解し、医学・保健・福祉などに関する社会問題に興味を持って、疫学研究や統計データから現状を把握し、課題の解決について考察することができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	80%	期末試験は教科書に掲載された問題を一部改訂して国家試験の形式で出題します。
小テスト		
レポート	15%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	05%	授業貢献度

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU11108J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
指定教科書を用いて、授業範囲の予習と復習を行う。	4

授業計画	
第１回	テーマ：疫学研究（１） 標本抽出、疫学研究の種類、記述研究、横断研究の実施方法と結果解析を解説する。
第２回	テーマ：疫学研究（２） コホート研究の実施方法と結果解析（相対危険、寄与危険）を解説する。
第３回	テーマ：疫学研究（３） 症例対照研究の実施方法と結果解析（オッズ比)、バイアスを解説する。
第４回	テーマ：疾病頻度の指標（１） 有病率、罹患率、致命率、死亡率について解説する。
第５回	テーマ：疾病頻度の指標（２） 疾病予防、年齢調整死亡率について解説する。 ＊課題レポート①を出題する。
第６回	テーマ：保健統計調査（１） 人口静態統計、人口動態統計について解説する。
第７回	保健統計調査（２） 死因統計、平均寿命、その他の保健統計について解説する。
第８回	テーマ：スクリーニング（１） スクリーニングの条件、偽陽性、偽陰性について解説する。
第９回	テーマ：スクリーニング（２） 敏感度、特異度について解説する。
第10回	テーマ：疾患の疫学 感染症、悪性腫瘍、生活習慣病などの疫学について解説する。
第11回	テーマ：統計学の基礎（１） 統計グラフ、代表値、散布度について解説する。 ＊課題レポート②を出題する。
第12回	テーマ：統計学の基礎（２） 正規分布、偏差値、相関係数について解説する。
第13回	テーマ：統計学の基礎（３） 推定、検定の総論について解説する。
第14回	テーマ：統計学の基礎（４） 検定の各論について解説する。
第15回	テーマ：まとめ ＊全体の総復習を行い、要点を再確認する。
テキスト	教科書： 看護学生のための疫学・保健統計（改訂４版）、浅野嘉延・著、南山堂
参考図書・教材	参考図書： 国民衛生の動向（最新版)、厚生統計協会

／データベース・雑誌等の紹介	
課題に対するフィードバックの方法	成績発表後に評価点の分布を提示します。
学生へのメッセージ・コメント	疫学・保健統計の知識は社会医学の基礎であり、保健師や看護師の業務に幅広く関係します。統計学の知識は看護研究などにも不可欠です。保健師国家試験の出題のうち約 20%が疫学・保健統計に関連した問題です。 授業後は教科書に掲載された問題を解くなどして復習をしてください。 次回の授業で最初 10-15 分は前回の講義内容の要点を確認しますので、知識を定着させてください。 医学・医療・保健・福祉などに関する社会問題にも積極的に興味を持って、統計データなどに慣れ親しむことも大切です。